MX900030A
Connector Master
取扱説明書

第 2 版

製品を適切・安全にご使用いただくために，製品をご使用になる前に，本書を必ずお読みください。

本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

管理番号：M-W3690AW-2.0

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために，危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解した上で機器を操作してください。
下記の表示およびシンボルは，そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また，外観図などが本書に含まれるとき，製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について

⚠ 危険	回避しなければ，死亡または重傷に至る切迫した危険があることを示します。
⚠ 警告	回避しなければ，死亡または重傷に至る恐れがある潜在的な危険があることを示します。
⚠ 注意	回避しなければ，軽度または中程度の人体の傷害に至る恐れがある潜在的危険，または，物的損害の発生のみが予測されるような危険があることを示します。

機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに，または本書に，安全上および操作上の注意を喚起するための表示があります。
これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して，注意に従ってください。

	禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。
	守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。
	警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。
	注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。
	このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。

MX900030A
Connector Master
取扱説明書

2014年（平成26年）３月11日（初　版）
2014年（平成26年）９月30日（第２版）

・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。
Copyright © 2014, ANRITSU CORPORATION
Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は，本製品が出荷時の検査により公表機能を満足することを証明します。

保証

- アンリツ株式会社は，本ソフトウェアが付属のマニュアルに従った使用方法にもかかわらず，実質的に動作しなかった場合に，無償で補修または交換します。
- その保証期間は，購入から 6 か月間とします。
- 補修または交換後の本ソフトウェアの保証期間は，購入時から 6 か月以内の残余の期間，または補修もしくは交換後から 30 日のいずれか長い方の期間とします。
- 本ソフトウェアの不具合の原因が，天災地変などの不可抗力による場合，お客様の誤使用の場合，またはお客様の不十分な管理による場合は，保証の対象外とさせていただきます。

また，この保証は，原契約者のみ有効で，再販売されたものについては保証しかねます。

なお，本製品の使用，あるいは使用不能によって生じた損害およびお客様の取引上の損失については，責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については，本書（紙版説明書では巻末，CD 版説明書では別ファイル）に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

ソフトウェア使用許諾

お客様は，ご購入いただいたソフトウェア（プログラム，データベース，電子機器の動作・設定などを定めるシナリオ等，以下「本ソフトウェア」と総称します）を使用（実行，複製，記録等，以下「使用」と総称します）する前に，本ソフトウェア使用許諾（以下「本使用許諾」といいます）をお読みください。お客様が，本使用許諾にご同意いただいた場合のみ，お客様は，本使用許諾に定められた範囲において本ソフトウェアをアンリツが推奨・指定する装置（以下，「本装置」といいます）に使用することができます。

第 1 条　（許諾，禁止内容）

1. お客様は，本ソフトウェアを有償・無償にかかわらず第三者へ販売，開示，移転，譲渡，賃貸，頒布，または再使用する目的で複製，開示，使用許諾することはできません。
2. お客様は，本ソフトウェアをバックアップの目的で，1 部のみ複製を作成できます。
3. 本ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止させていただきます。
4. お客様は，本ソフトウェアを本装置 1 台で使用できます。

第 2 条　（免責）

アンリツは，お客様による本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる損害，第三者からお客様になされた損害を含め，一切の損害について責任を負わないものとします。

第 3 条　（修補）

1. お客様が，取扱説明書に書かれた内容に基づき本ソフトウェアを使用していたにもかかわらず，本ソフトウェアが取扱説明書もしくは仕様書に書かれた内容どおりに動作しない場合（以下「不具合」と言います）には，アンリツは，アンリツの判断に基づいて，本ソフトウェアを無償で修補，交換，または回避方法のご案内をするものとします。ただし，以下の事項に係る不具合を除きます。
   a) 取扱説明書・仕様書に記載されていない使用目的での使用
   b) アンリツが指定した以外のソフトウェアとの相互干渉
   c) 消失したもしくは，破壊されたデータの復旧
   d) アンリツの合意無く，本装置の修理，改造がされた場合
   e) 他の装置による影響，ウイルスによる影響，災害，その他の外部要因などアンリツの責とみなされない要因があった場合
2. 前項に規定する不具合において，アンリツが，お客様ご指定の場所で作業する場合の移動費，宿泊費および日当に関る現地作業費については有償とさせていただきます。
3. 本条第 1 項に規定する不具合に係る保証責任期間は本ソフトウェア購入後 6 か月もしくは修補後 30 日いずれか長い方の期間とさせていただきます。

第 4 条　（法令の遵守）

お客様は，本ソフトウェアを，直接，間接を問わず，核，化学・生物兵器およびミサイルなど大量破壊兵器および通常兵器およびこれらの製造設備等関連資機材等の拡散防止の観点から，日本国の「外国為替および外国貿易法」およびアメリカ合衆国「輸出管理法」その他国内外の関係する法律，規則，規格等に違反して，いかなる仕向け地，自然人もしくは法人に対しても輸出しないものとし，また輸出させないものとします。

第 5 条　（解除）

アンリツは，お客様が本使用許諾のいずれかの条項に違反したとき，アンリツの著作権およびその他の権利を侵害したとき，または，その他，お客様の法令違反等，本使用許諾を継続できないと認められる相当の事由があるときは，本使用許諾を解除することができます。

第 6 条　（損害賠償）

お客様が，使用許諾の規定に違反した事に起因してアンリツが損害を被った場合，アンリツはお客様に対して当該の損害を請求することができるものとします。

第 7 条　（解除後の義務）

お客様は，第 5 条により，本使用許諾が解除されたときはただちに本ソフトウェアの使用を中止し，アンリツの求めに応じ，本ソフトウェアおよびそれらに関する複製物を含めアンリツに返却または廃棄するものとします。

第 8 条　（協議）

本使用許諾の条項における個々の解釈について疑義が生じた場合，または本使用許諾に定めのない事項についてはお客様およびアンリツは誠意をもって協議のうえ解決するものとします。

第 9 条　（準拠法）

本使用許諾は，日本法に準拠し，日本法に従って解釈されるものとします。

ウイルス感染を防ぐための注意

インストール時

本ソフトウェア，または当社が推奨または許諾するソフトウェアをインストールする前に，PC（パーソナルコンピュータ）および PC に接続するメディア（USB メモリ，CF メモリカードなど）も含めてウイルスチェックを実施してください。

本ソフトウェア使用時および計測器と接続時

- ファイルやデータのコピー
  次のファイルやデータ以外を PC にコピーしないでください。
  - 当社より提供するファイルやデータ
  - 本ソフトウェアが生成するファイル
  - 本書で指定するファイル

  前記のファイルやデータのコピーが必要な場合は，メディア（USB メモリ，CF メモリカードなど）も含めて事前にウイルスチェックを実施してください。
- ネットワークへの接続
  PC を接続するネットワークは，ウイルス感染への対策を施したネットワークを使用してください。

ソフトウェアを安定してお使いいただくための注意

本ソフトウェアの動作中に，PC 上にて以下の操作や機能を実行すると，ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

- 当社が推奨または許諾するソフトウェア以外のソフトウェアを同時に実行
- ふたを閉じる（ノート PC の場合）
- スクリーンセーバ
- バッテリ節約機能（ノート PC の場合）

各機能の解除方法は，使用している PC の取扱説明書を参照してください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり，外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので，国外へ持ち出して使用された場合，当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は，輸出および国外持ち出しの際には，「外国為替及び外国貿易法」により，日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また，米国の「輸出管理規則」により，日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。
   本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は，事前に必ず当社の営業担当までご連絡ください。
   輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は，軍事用途等に不正使用されないように，破砕または裁断処理していただきますようお願い致します。

はじめに

この説明書は，MX900030A Connector Master の使用方法について記述したものです。

ファイバスコープの安全上の注意，操作方法については，『G0306A ファイバスコープ 取扱説明書』を参照してください。

目次

はじめに I

第 1 章 概要 1-1

1.1 概要 1-2
1.2 推奨動作環境 1-4
1.3 製品構成 1-5

第 2 章 インストール 2-1

2.1 インストール 2-2
2.2 アンインストール 2-6

第 3 章 操作 3-1

3.1 ソフトウェアの起動と終了 3-2
3.2 メインウィンドウ 3-3
3.3 ファイバ端面の表示 3-6
3.4 ファイバ端面の解析 3-8
3.5 レポートの作成 3-11

ここでは, MX900030A Connector Master の概要と製品構成について説明します。

1.1　概要 1-2
1.2　推奨動作環境 1-4
1.3　製品構成 1-5

1.1　概要

MX900030A Connector Master (以下, 本ソフトウェアという)は, G0306A ファイバスコープを使用して, パーソナルコンピュータ (以下, PC という) でファイバ端面の観測, 解析, および合否判定をするソフトウェアです。

図1.1-1　本ソフトウェアの使用例

本ソフトウェアには, 次の機能があります。
- 光ファイバ端面のリアルタイム表示
- 光ファイバ端面の画像保存 (png, jpeg, bmp 形式)
- 光ファイバ端面の自動解析
- 試験レポートの作成 (pdf)形式

本ソフトウェアでは, 次の規格に準拠して光ファイバ端面を解析します。
IEC 61300-3-35 Fibre optic interconnecting devices and passive components - Basic test and measurement procedures –
Part 3-35: Examinations and measurements – Fibre optic connector endface visual and automated inspection

本ソフトウェアは, 次の製品で作成した VIPI ファイルを読み込むことができます。
- MU909014x/MU909015x ファイバメンテナンステスタ

注:

本ソフトウェアは, G0306A のみ対応しています。ほかのファイバスコープで保存した VIPI ファイルは, 解析することができません。

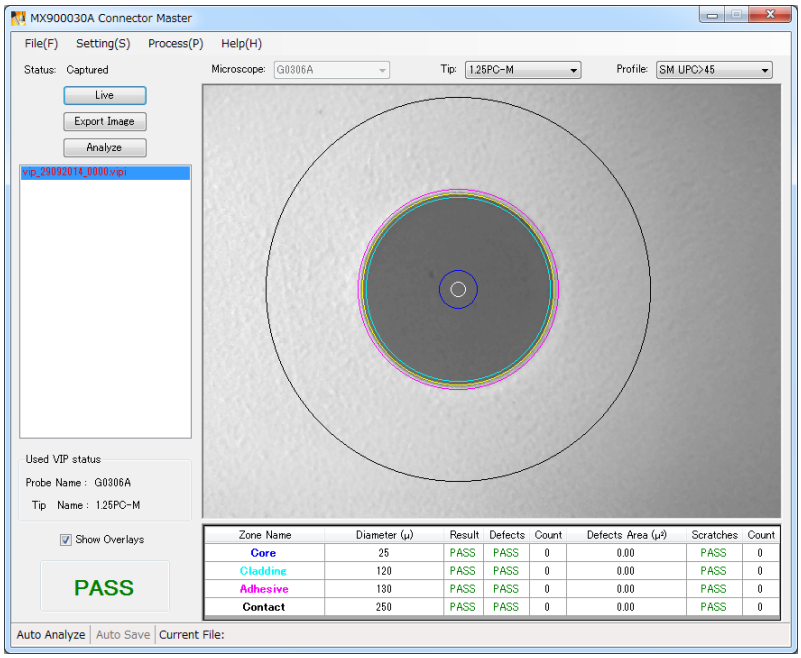

MX900030A Connector Master
File(F) Setting(S) Process(P) Help(H)
Status: Captured
Microscope: G0306A
Tip: 1.25PC-M
Profile: SM.UPC>45
Live
Export Image
Analyze
vip_20092014_0000.vipi
Used VIP status
Probe Name : G0306A
Tip Name : 1.25PC-M
Show Overlays
PASS
Zone Name | Diameter (μ) | Result | Defects | Count | Defects Area (μ²) | Scratches | Count
Core | 25 | PASS | PASS | 0 | 0.00 | PASS | 0
Cladding | 120 | PASS | PASS | 0 | 0.00 | PASS | 0
Adhesive | 130 | PASS | PASS | 0 | 0.00 | PASS | 0
Contact | 250 | PASS | PASS | 0 | 0.00 | PASS | 0
Auto Analyze | Auto Save | Current File:

図1.1-2　解析結果の例

1.2　推奨動作環境

本ソフトウェアの推奨動作環境を次の表に示します。

表1.2-1　推奨動作環境

項目	仕様
OS	Windows XP Professional Service Pack 3 Windows 7 (32/64 bit) Windows 8 (32/64 bit)
CPU	1 GHz 以上のプロセッサ
メモリ	2 GB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上
インタフェース	USB2.0
ディスプレイ	1024 × 768 以上
その他	.NET Framework 4.0*1 .NET Framework 4.5*2 Adobe Reader 9.0 以降

＊1: Windows XP, または Windows 7 の場合

＊2: Windows 8 の場合

1.3 製品構成

本ソフトウェアの製品構成を次の表に示します。

表1.3-1 構成品

形名／オーダリング番号	品　　名
MX900030A	Connector Master*
W3690AW	取扱説明書*

＊: 当社 Web サイトよりダウンロードします。

第2章　インストール

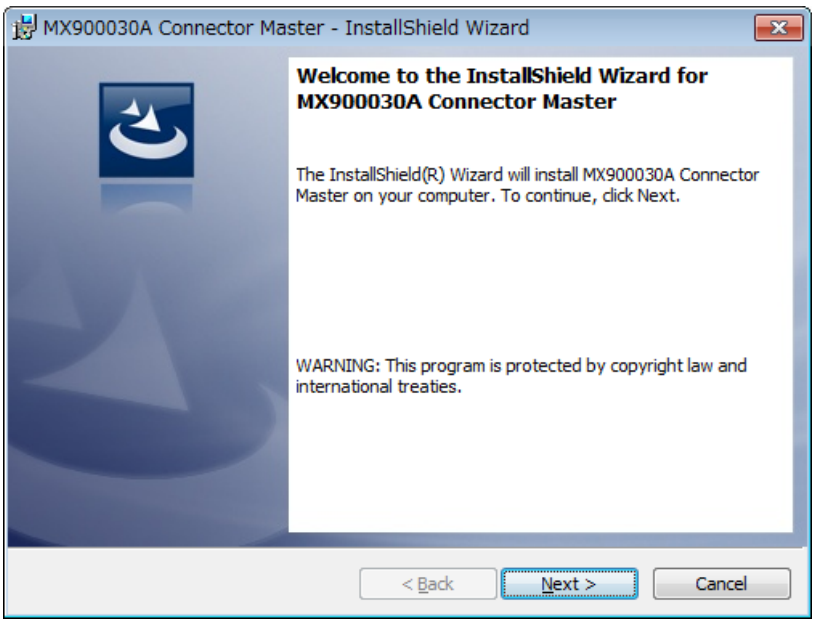
ここでは，本ソフトウェアのインストール方法を説明します。

2.1　インストール 2-2
2.2　アンインストール 2-6

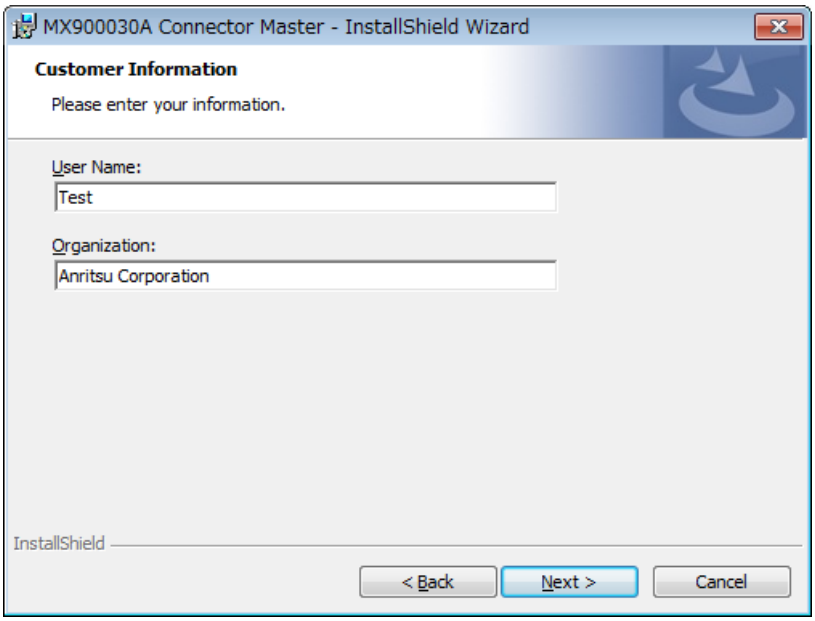
2.1　インストール

次の手順で本ソフトウェアを PC にインストールしてください。

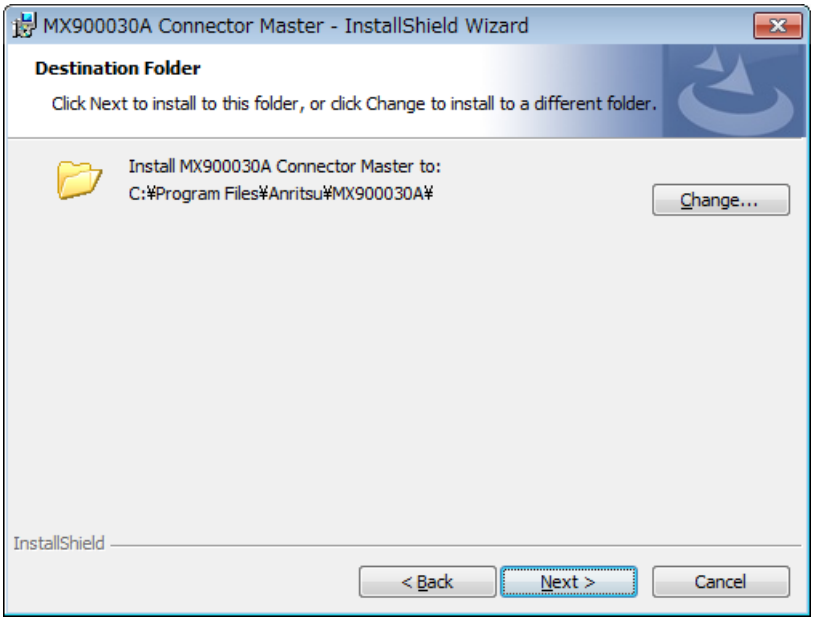
1. ダウンロードしたファイルを解凍し，setup.exe をダブルクリックします。
2. セットアップ画面が表示されます。［Next >］をクリックします。



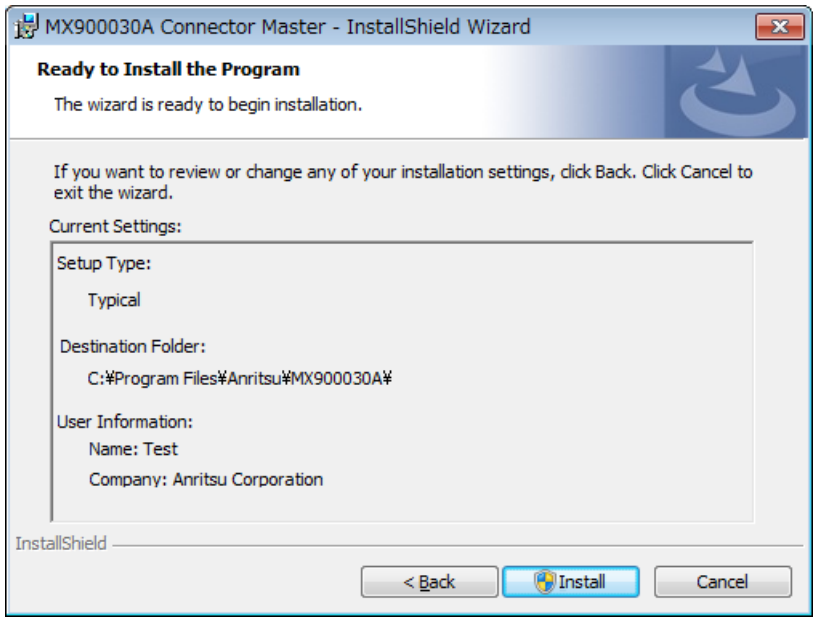
3. 使用者の情報を設定します。User Name，Organization を入力して，[Next >] をクリックします。



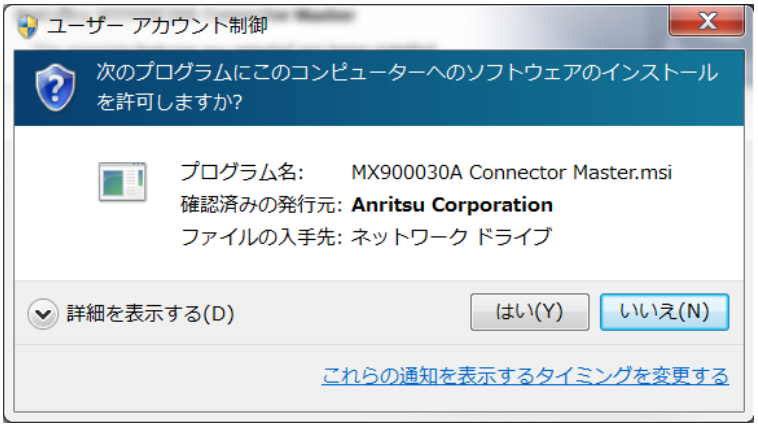
4. インストール先フォルダが表示されます。フォルダを変更する場合は [Change...] をクリックします。[Next >] をクリックします。


MX900030A Connector Master - InstallShield Wizard
Destination Folder
Click Next to install to this folder, or click Change to install to a different folder.
Install MX900030A Connector Master to:
C:¥Program Files¥Anritsu¥MX900030A¥
Change...
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

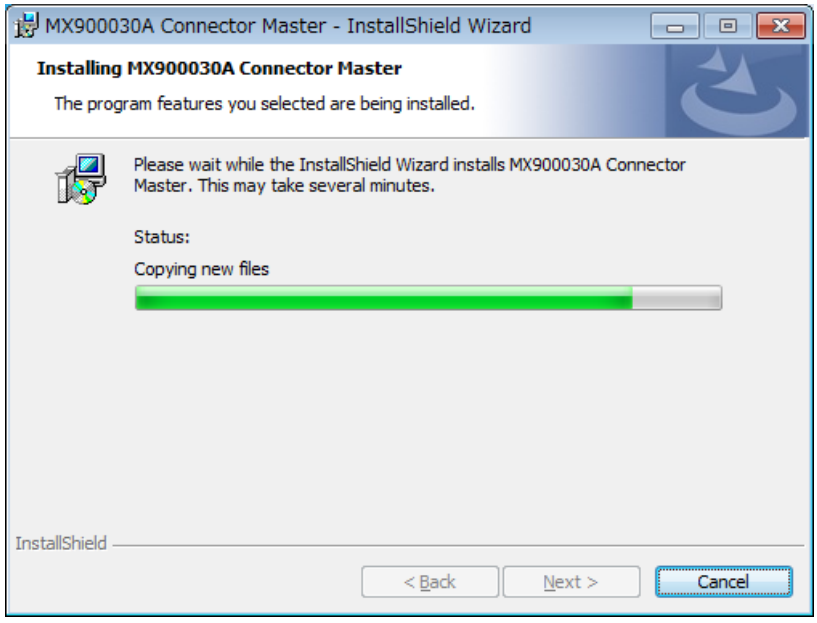
5. インストールの確認画面が表示されます。[Install] をクリックします。



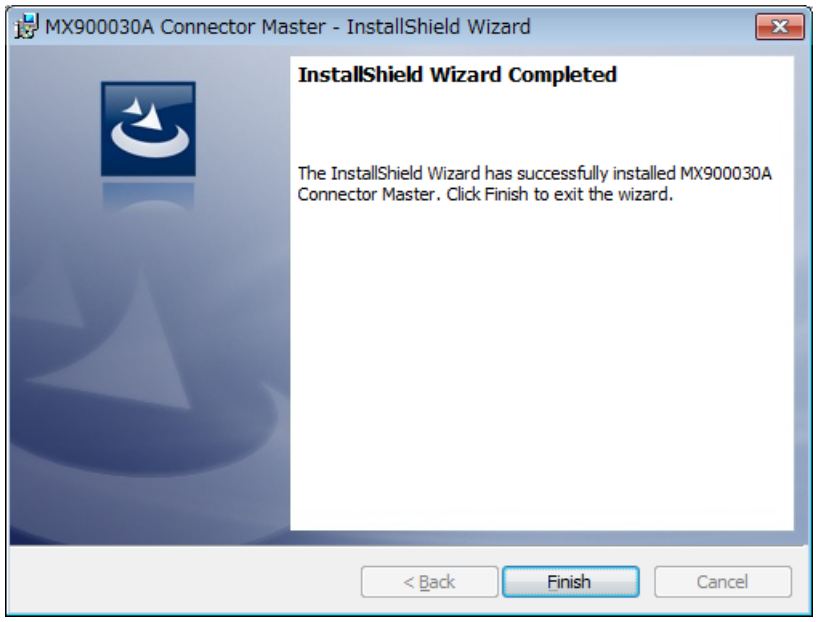
6. ユーザアカウント制御画面が表示されたら［はい］をクリックします。



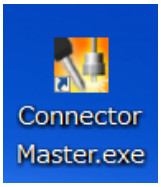
7. インストールの進捗状況が表示されます。



8. インストールの完了画面が表示されたら，[Finish] をクリックします。


MX900030A Connector Master - InstallShield Wizard
InstallShield Wizard Completed
The InstallShield Wizard has successfully installed MX900030A Connector Master. Click Finish to exit the wizard.
< Back
Finish
Cancel

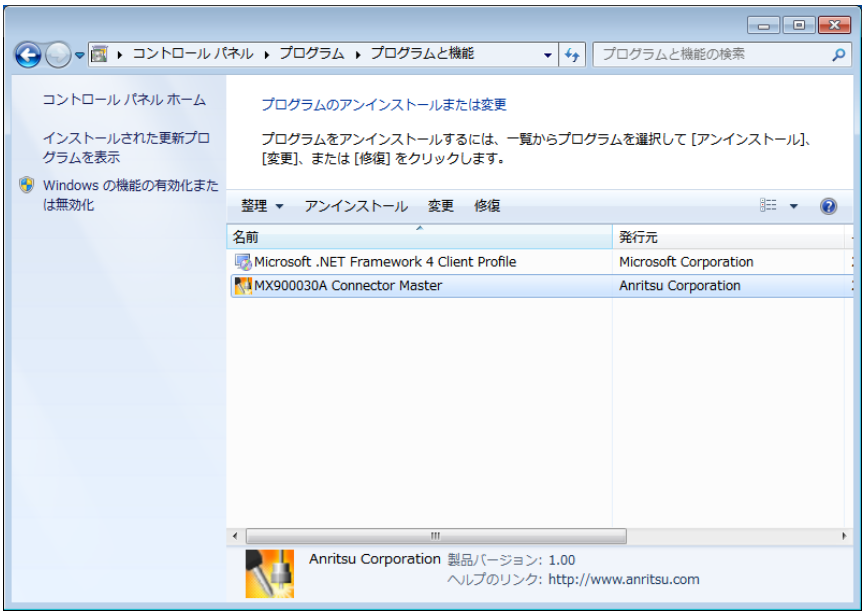
9. デスクトップと Windows のスタートメニューに Connector Master が追加されていることを確認します。



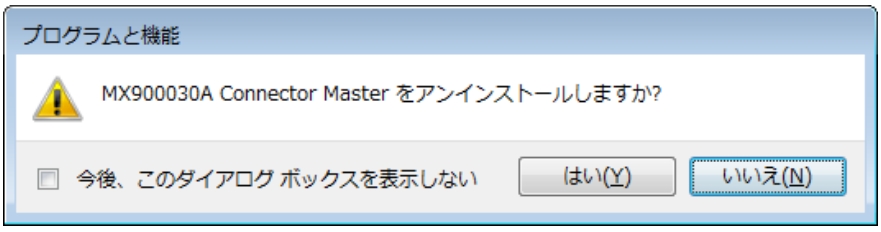
2.2　アンインストール

次の手順で本ソフトウェアを PC からアンインストールします。

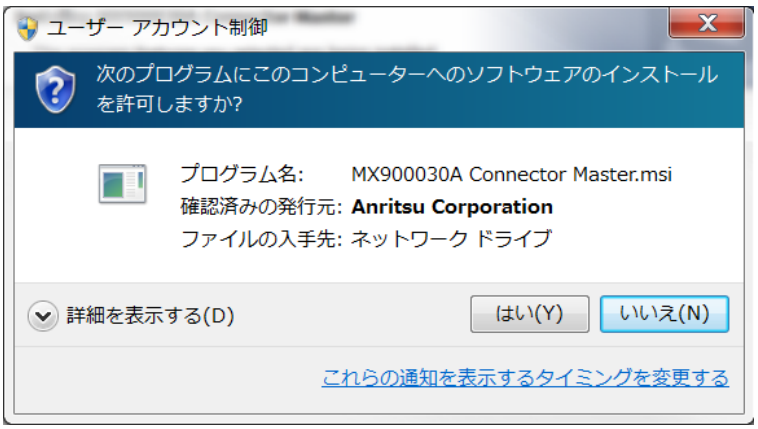
1. Windows のスタートメニューから［コントロールパネル］をクリックします。
2. ［プログラムと機能］をクリックします。
3. ［MX900030A Connector Master］をクリックします。



4. ［アンインストール］をクリックします。
5. 確認画面が表示されます。[はい］をクリックします。



6. 以下の画面が表示される場合は，[はい]をクリックします。



7. アンイストールの進捗状況が表示されます。ダイアログ表示が消えたらアンインストール完了です。

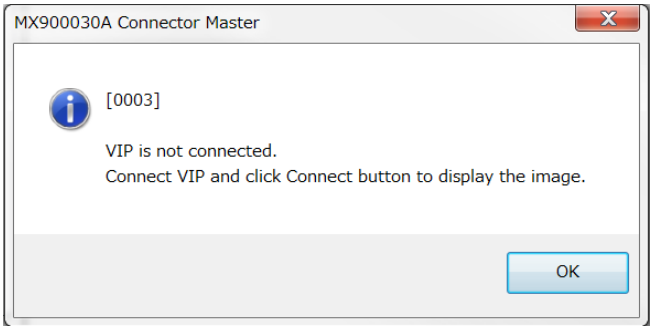
ここでは，本ソフトウェアの操作方法について説明します。

3.1　ソフトウェアの起動と終了 3-2
3.2　メインウィンドウ 3-3
3.3　ファイバ端面の表示 3-6
3.3.1　ファイバスコープの画像表示 3-6
3.3.2　ファイル操作 3-7
3.4　ファイバ端面の解析 3-8
3.4.1　解析の実行 3-8
3.4.2　自動ファイル保存の設定 3-9
3.5　レポートの作成 3-11

3.1　ソフトウェアの起動と終了

起動方法

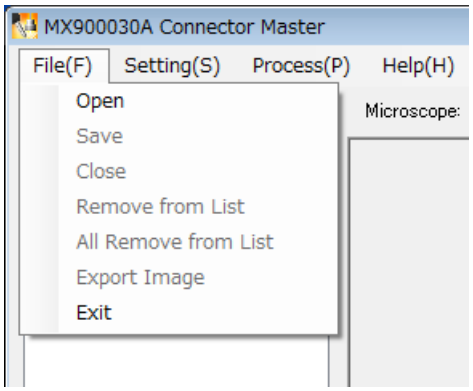
1. Windows のスタートメニューから，Connector Master をクリックします。
2. G0306A ファイバスコープを PC に接続していない場合は，次のメッセージが表示されます。 [OK] をクリックします。



3. 本ソフトウェアのメインウィンドウが表示されます。

終了方法

メニューの [File] – [Exit] をクリックします。



3.2 メインウィンドウ

メインウィンドウの名称を以下に示します。

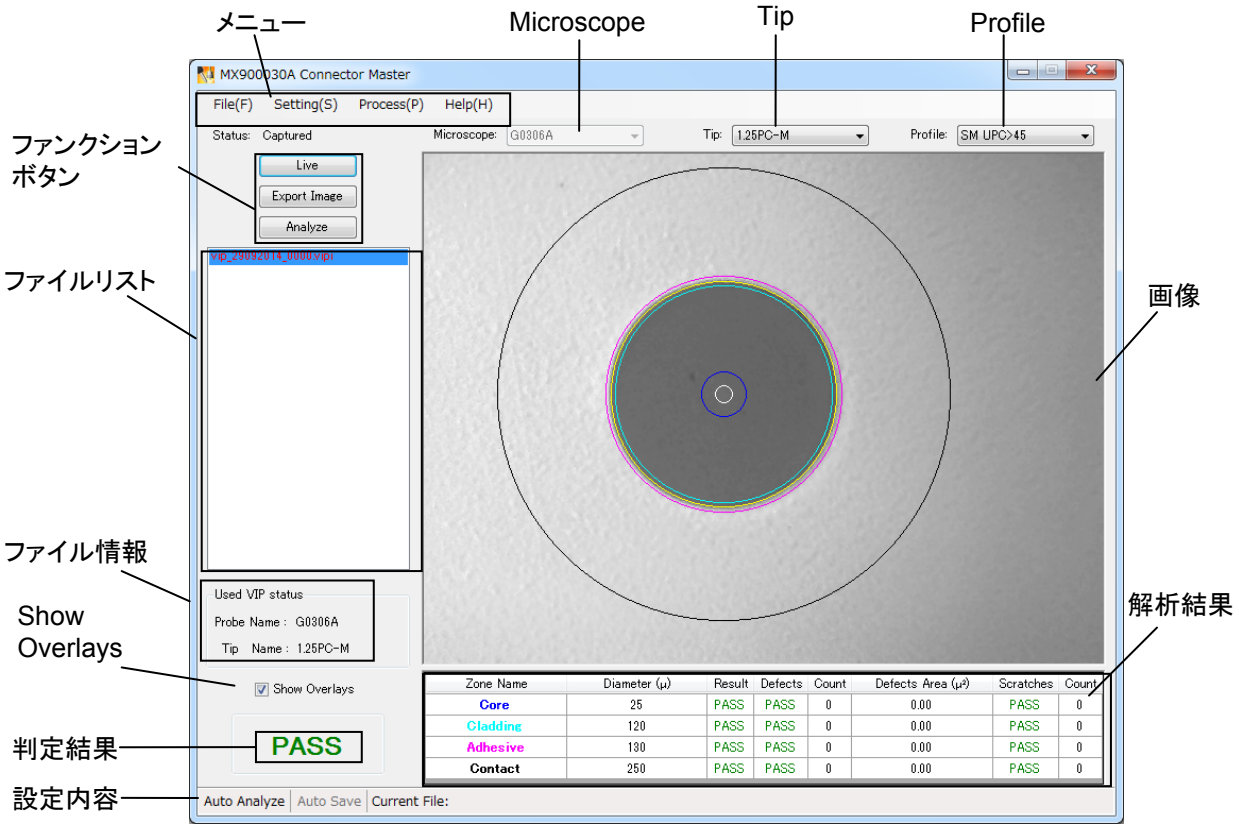


図3.2-1 メインウィンドウの名称

メニューのリストを次の表に示します。

表3.2-1　メニュー

表示	説明
File	
Open	VIP イメージファイルを読み込み，ファイルリストに表示します。
Save	選択しているファイルにファイバの端面画像および解析結果を保存します。
Close	表示している画像を非表示にします。
Remove from List	選択したファイルをファイルリストから削除します。
All Remove from List	すべてのファイルをファイルリストから削除します。
Export Image	ファイバの端面画像を画像ファイルに保存します。
Exit	本ソフトウェアを終了します。
Setting	
Auto File Setting	ファイルの自動保存について設定します。
PDF Report Setting	レポートに出力する内容を設定します。
Process	
Generate Report	選択しているファイルのレポートを作成します。
Generate Report(Folder)	選択したフォルダ内にあるすべてのファイルからレポートを作成します。
Analyze	選択しているファイバ端面の画像を解析します。
Help	
Manual	英文の取扱説明書を表示します。*
About	本ソフトウェアのバージョンを表示します。

＊:　Adobe Reader のインストールが必要です。

表3.2-2 メインウィンドウの説明

名称	説明
メニュー	
Microscope	変更できません。本ソフトウェアでは G0306A が表示されます。
Tip	使用しているファイバスコープのチップを選択します。
Profile	光ファイバの種類を選択します。
ファンクション ボタン	Connect: ファイバスコープに接続します。*1 Live: ファイバ端面の画像をリアルタイムに表示します。*2 Capture: Live 画像を取得してファイルに保存します。*2 Export Image: 表示しているファイバ端面の画像を画像ファイルに保存します。*3 Analyze: 解析を実行します。
ファイルリスト	取得または読み込んだ VIP イメージファイルが表示されます。*4
ファイル情報	選択したファイルの情報が表示されます。
Show Overlays	チェックすると，ファイバの判定図が画像上に表示されます。
画像	ファイバスコープで撮影した画像が表示されます。
解析結果	ゾーンごとの解析結果が表示されます。*5
判定結果	画像解析の判定結果が表示されます。*5
設定内容	現在設定している Auto File Setting の内容が表示されます。 (チェックを付けている場合は黒色、付けていない場合は灰色表示)

＊1: 本ソフトウェアがファイバスコープと接続していない場合に表示されます。

＊2: 本ソフトウェアがファイバスコープと接続している場合に表示されます。

＊3: Live 中は使用できません。

＊4: 表示するファイル数は最大 100 ファイルまでです。

＊5: 解析を実行すると，解析結果，判定結果が表示されます。

マウスを使用したメインウィンドウの操作方法を次の表に示します。

表3.2-3 マウス操作の説明

マウスの操作	メインウィンドウの動作	
左クリック	以下の選択とボタン操作します。 メニューの項目，Tip，Profile，ファイルリストのファイル，Show Overlays	
右クリック	画像を右クリックするとデフォルトの位置，サイズに戻します。	
スクロール	上方向	画像を拡大します。
	下方向	画像を縮小します。
ドラッグ	画像をドラッグした方向に移動します。	
ダブルクリック	ファイルリストでファイルをダブルクリックすると，ファイルの画像，解析結果を表示します。	

3.3　ファイバ端面の表示

3.3.1　ファイバスコープの画像表示

1. 本ソフトウェアを起動すると，ファイバスコープで撮影している画像が表示されます。このとき，画面の Status には Live と表示されます。
   ファンクションボタンに［Connect］が表示されている場合は，［Connect］をクリックします。

2. ファイバスコープのピント調整ノブを回して，ピントを調整します。

3. ［Capture］をクリックすると，画像をキャプチャします。画面の Status に Captured と表示され，ファイルリストに次のファイル名でファイルが追加されます。Auto File Setting ダイアログで Auto Function の File Save にチェックしている場合は，取得した画像が自動的に保存されます。

   (デフォルトは C:¥Users¥USER¥Documents¥Anritsu¥MX900030A¥)
   USER には利用しているユーザー名が表示されます。

   vip_DDMMYYYY_####.vipi 例)vip_13092013_0000.vipi

   DD:　日
   MM:　月
   YYYY:　年
   ####:　番号(4 桁)

   注:

   Auto File Setting ダイアログで設定を変更している場合は，設定されたファイル名で保存されます。

   Auto File Setting ダイアログで Auto Function Analyze をチェックしている場合は，自動的にファイバ端面の画像が解析され，解析に使用する判定図と検出された汚れや傷が表示されます。検出された傷や汚れは次の色で表示されます。
   緑色:　問題とならない傷や汚れ
   赤色:　問題ありとしてカウントされる傷や汚れ

4. ファイバ端面の画像をクリックすると，マウスのホイールを動かすことによって，画像の拡大/縮小ができます。画像を右クリックすると元のサイズで表示されます。また，画像をドラッグすると表示位置を変更できます。

5. ［Live］をクリックすると，リアルタイム表示に変わります。

3.3.2　ファイル操作

＜ファイルの保存＞

ファイバ端面の画像と解析結果を VIP イメージファイルに保存します。

1. ファイルリストから保存したいファイルをダブルクリックして表示します。
2. メニューの［File］-［Save］をクリックします。
3. 保存先フォルダとファイル名を入力します。
4. ［保存］をクリックします。

ファイバ端面の画像を画像ファイルに保存します。

1. ファイルリストから保存したいファイルをダブルクリックして表示します。
2. ［Export Image］をクリックします。

   またはメニューの［File］-［Export Image］をクリックします。
3. 保存先フォルダとファイル名を入力します。
4. ファイルの種類を選択して［保存］をクリックします。

注：

画像を拡大して表示している場合は，拡大した画像がそのまま保存されます。メインウィンドウに表示されていない部分の画像は出力されません。

＜ファイルの読み込み＞

1. メニューの［File］-［Open］をクリックします。
   またはファイルリストに読み込みたいファイルをドラッグ＆ドロップします。
2. 参照先フォルダとファイル名を入力します。
3. ［開く］をクリックします。ファイルリストに読み込んだファイルが追加されます。
4. ファイルリストのファイルをダブルクリックすると，画像とファイル情報が表示されます。また，画面の Status に Loaded と表示されます。

3.4　ファイバ端面の解析

3.4.1　解析の実行

次の手順で解析条件を設定します。

1. ファイルリストから解析したいファイル名をダブルクリックし，画像を表示します。
2. ファイバスコープに取り付けているフェルールアダプタを，Tip のプルダウンメニューから選択します。

   1.25PC-M:　φ1.25mm PC ユニバーサル
   2.5APC-M:　φ2.5mm APC ユニバーサル
   2.5PC-M:　φ2.5mm PC ユニバーサル
   FC-PC-F:　FC コネクタ用
   LC-PC-F:　LC コネクタ用
   SC-PC-F:　SC コネクタ用
   SC-APC-F:　SC コネクタ用(APC)

3. ファイバの種類を Profile のプルダウンメニューから選択します。

   SM UPC>45:　シングルモードファイバ，反射減衰量>45 dB の PC
   SM APC:　シングルモードファイバ，斜め研磨 PC
   SM PC>26:　シングルモードファイバ，反射減衰量>26 dB の PC
   MM PC 62.5:　マルチモードファイバ，コア径　62.5 μm
   MM PC 50.0:　マルチモードファイバ，コア径　50 μm

4. [Analyze] をクリックすると，解析結果，判定結果が表示されます。
5. [Show Overlays] をチェックすると，解析に使用する判定図（円）が画面に表示されます。

表3.4.1-1　解析結果の項目

名称	説明
Zone Name	解析したゾーンの名称です。
Diameter (μ)	直径の測定結果です。 単位はマイクロメートル（μm）です。
Result	直径の判定結果です。
Defects	ファイバ端面の汚れ・欠陥の判定結果です。
Count	検出した汚れ・欠陥の数です。
Defects Area (μ2)	検出した欠陥の合計面積です。 単位は平方マイクロメートル（μm^2）です。
Scratches	傷の判定結果です。
Count	検出したファイバ端面の傷の数です。

解析結果の Result，Defects，および Scratches がすべて PASS の場合，判定結果は PASS になります。判定結果が FAIL の場合，問題のある箇所が解析結果に赤色で表示されます。

ファイバ端面の汚れが著しいときや，ピントが合っていないときは正常に解析することができません。次のメッセージが表示された場合は，コネクタを清掃するかファイバスコープのピントを調整してください。

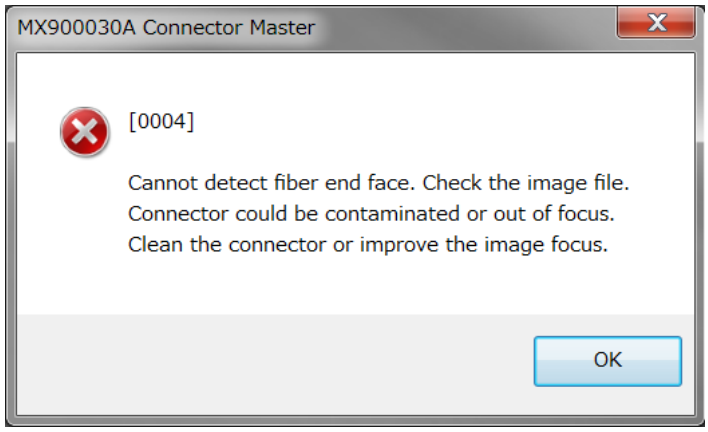


図3.4.1-1 エラーメッセージ

注：

G0306A 以外のファイバスコープで取得された VIP イメージファイルは，本ソフトウェアでは解析できません。

3.4.2　自動ファイル保存の設定

本ソフトウェアは解析結果を自動でファイルに保存します。
次の手順で保存するファイル名を設定することができます。

1. [Setting] - [Auto File Setting] をクリックすると，Auto File Setting ダイアログが表示されます。
2. [Capture] をクリックしたときにファイバ端面の画像を自動的に解析したい場合は，Auto Function の Analyze をチェックします。
3. [Capture] をクリックしたときに自動的に保存したい場合は，Auto Function の File Save をチェックします。
4. 保存先を変更する場合は Browse…をクリックし，保存先フォルダを選択してから[OK]をクリックします。デフォルトはドキュメントフォルダに作成されます。
5. ファイル名を次のように設定します。

   ファイル名の文字列を File Name Prefix のテキストボックスに入力します。Include Date にチェックされているときは最大 15 文字，チェックされていないときは最大 24 文字入力できます。

   開始番号を Sequence Number のテキストボックスに入力します。
   ファイル名に日付を追加する場合は，Include Date をチェックします。
   2013 年 8 月 12 日の場合は_12082013 の文字列がファイル名に追加されます。
   保存先のフォルダと最初に保存するファイル名が表示されます。

6.　[OK] をクリックします。

Auto File Setting ダイアログの各設定項目は，本ソフトウェアを再インストールしても内容が保持されます。それぞれの初期状態を次の図に示します。

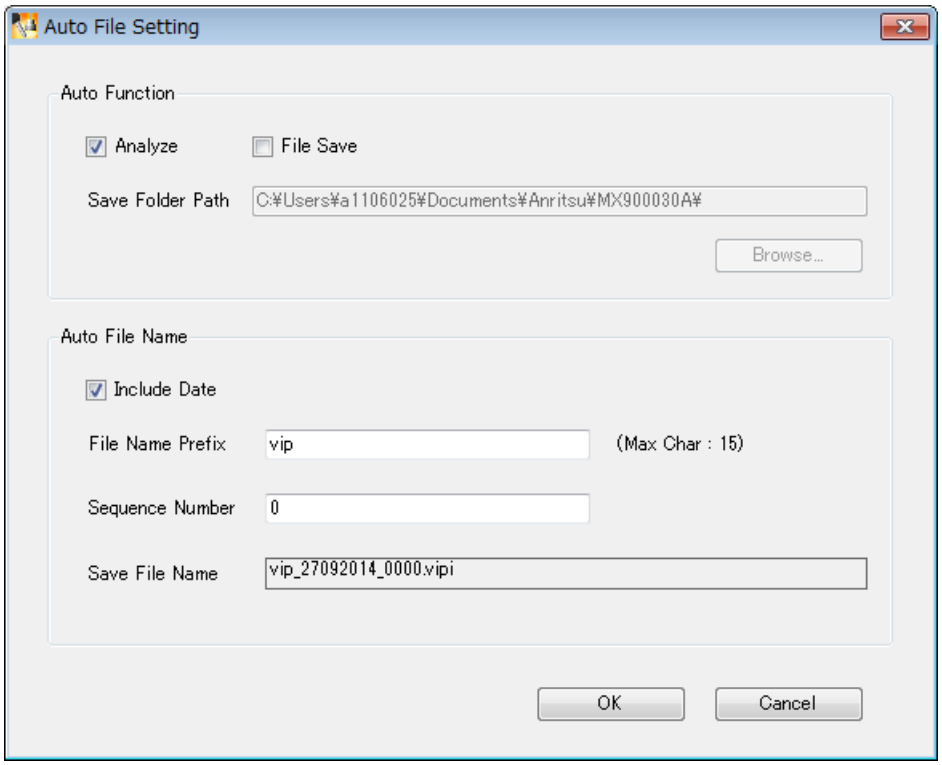


図3.4.2-1　Auto File Setting ダイアログ

注：

Sequence Number に入力できる数字は 0～9999 までです。同じ名前のファイルが保存先フォルダに存在する場合は，自動的に Sequence Number をインクリメントして保存します。

File Nmae Prefix に最大文字数以上を入力している場合は，OK ボタンが灰色になり押せなくなります。最大文字数に合わせて変更してください。

3.5 レポートの作成

本ソフトウェアは，次の手順で PDF 形式のレポートを作成できます。
PDF レポートの閲覧には Adobe Reader のインストールが必要です。

出力するレポート内容を変更する場合は，次の手順で設定します。

1. [Setting] - [PDF Report Setting] をクリックします。PDF Report Setting ダイアログが表示されます。
2. レポートに解析結果を記載する場合は，Include Analysis Results をチェックします。
   解析結果の詳細情報を記載する場合は，Include Analysis Details をチェックします。
3. Customer, Location, Operator, Notes にはレポートに記載する内容を入力します。最大 30 文字入力できます。
4. レポートにロゴマークを表示する場合は，Include Logo をチェックします。
5. ロゴマークを変更する場合は，[Browse...] をクリックします。フォルダを選択し，ファイル名を入力して［開く］をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

選択したファイルからレポートを作成する場合は，次の手順で作成します。

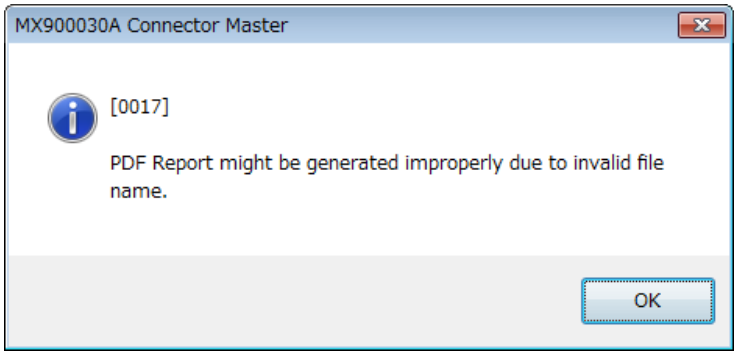
1. メニューの［Process] - [Generate Report] をクリックします。
2. 保存先フォルダを選択し，ファイル名を入力します。
3. [保存] をクリックします。

選択したフォルダ内にあるすべてのファイルからレポートを作成する場合は，次の手順で作成します。

1. メニューの［Process] - [Generate Report(Folder)] をクリックします。
2. レポートを作成したいファイルが保存されているフォルダを選択し，[OK]をクリックします。

注:

vipi ファイルがないフォルダを選択すると，以下のエラーが表示されます。



3. レポートの保存先フォルダを選択し，ファイル名を入力します。
4. [保存] をクリックします。

PDF Report Setting ダイアログの各設定項目は，本ソフトウェアを再インストールしても内容が保持されます。PDF Report Setting ダイアログの項目を次の図の初期状態に設定にするには，[Restore Defaults] をクリックします。

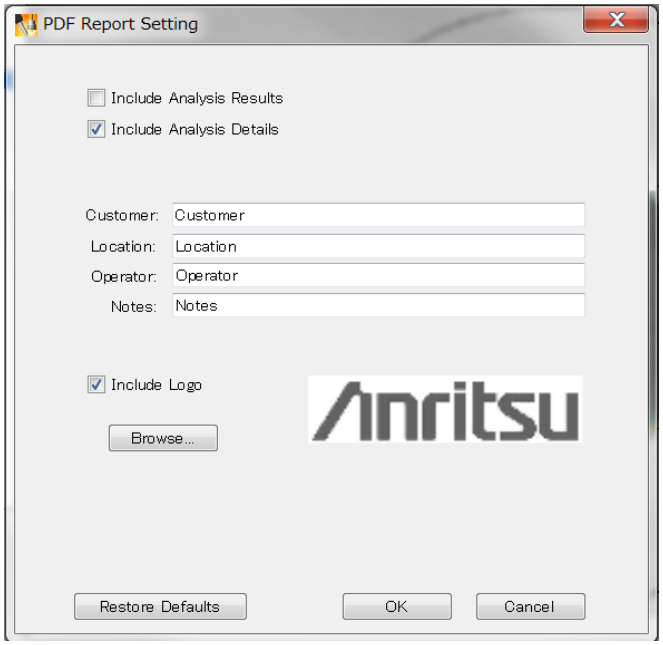


図3.5-1　PDF Report Setting ダイアログ

Anritsu　2014-09-29 13:33:23

VIP Report Information

Report Comments	
Customer	Customer
Location	Location
Operator	Operator
Notes	Notes

Report Contents	
File(s)	vip_29092014_0000.vipi

1

Anritsu　2014-09-29 13:33:23

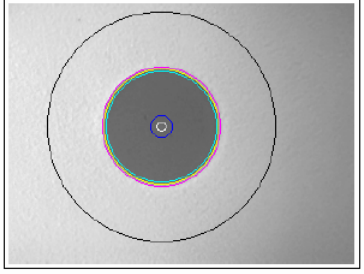
VIP Test Result

VIP Test Information	
File Name	**vip_29092014_0000.vipi**
Probe Model	G0306A
Tip Type	1.25PC-M
Test Profile	SM UPC >45
Capture Time	2014-09-29 13:21:09

Analysis Result
PASS

Analysis Details						
Zone Name	Diameter (μ)	Defects	Count	Area (μ²)	Scratches	Count
Core	25	PASS	0	0.00	PASS	0
Cladding	120	PASS	0	0.00	PASS	0
Adhesive	130	PASS	0	0.00	PASS	0
Contact	250	PASS	0	0.00	PASS	0

File Name	vip_29092014_0000.vipi



2

図3.5-2　解析結果の詳細情報を記載したレポートの例

注：

レポートに表示される画像と実際に画面に表示される画像は，一部異なることがあります。この場合でもレポートに表示される解析結果は画面に表示される解析結果と変わりません。